

2. 地歴・公民

科目	現代社会	単位数	2	区分	必履修
教科書・教材	三省堂『現代社会 改訂版』	配当年次	1年次		
授業のねらい・概要					
広い視野に立って現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに良識ある公民として必要な能力と態度をもてるようにする。					
授業の進め方					
授業ごとにプリントを用意する黒板の重要事項を写し、説明をうける教科書を読み、課題を完成させる。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	政治と民主主義・日本国憲法（成立期）		中間	17
	5月	日本国憲法（基本的人権）			
	6月	日本国憲法（社会権、平等権）			
	7月	日本国憲法（新しい人権、国民主権）			
	8月	日本国憲法（憲法第9条）			
	9月	"、現代政治（国会・内閣・司法）		期末	18
後期	10月	現代政治（選挙制度）		中間	17
	11月	現代経済の仕組み（原理・企業の仕組み、株式、市場原理）			
	12月	現代経済の仕組み（金融市場、金融政策）		期末	
	1月	現代経済の仕組み（為替相場、財政、予算）			
	2月	現代経済の仕組み（財政政策、国債問題、戦後日本経済の歩み）			
評価の方法					
平常の授業態度（出席状況）・定期考査・課題の提出状況等を総合的に判断する。					
備考					

科目	地理A	単位数	2	区分	選択必履修
教科書・教材	教育出版『新地理A 暮らしと環境』 二宮書店『必携コンパクト地図帳』	配当年次	2年次		
授業のねらい・概要					
現代世界の地理的な課題を地域性を踏まえて考察し、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる国際人としての自覚と資質を養う。					
授業の進め方					
地図の読図や作図などの作業学習も行う授業ごとにプリントを用意する教科書・地図帳・配布資料などから課題を完成させる。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	日本の地理（都道府県、農業）		中間	17
	5月	日本の地理（漁業、工業）			
	6月	地図と読図（地図図法、地形を知る）			
	7月	地図と読図（領土問題）			
	8月	時差		期末	
9月	世界地図（地域・地形の名称）、気候（風・気温・降水）				
後期	10月	気候（世界の気候区）、生活と環境（熱帯の生活）		中間	17
	11月	生活と環境（乾燥帯の生活、温帯の生活、冷帯の生活）			
	12月	世界の農業、村落と都市		期末	
	1月	地域を知る（韓国）			
	2月	地域を知る（中国、オーストラリア、アメリカ）			
評価の方法					
平常の授業態度（出席状況）・定期考査・課題の提出状況等を総合的に判断する。					
備考					
日本史Aとの選択必履修。					

科目	世界史A	単位数	2	区分	必履修
教科書・教材	実教出版『新版 世界史A』	配当年次	3年次		
授業のねらい・概要					
近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
授業の進め方					
授業ごとにプリントを用意する。板書の重要事項を写しながら説明を聞く。教科書や配布資料などから課題を完成させる。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	現代の世界概観		中間	17
	5月	人類の誕生～四大文明			
	6月	ローマと地中海世界、秦・漢帝国と東アジア			
	7月	インド・東南アジア世界			
	8月	アフリカ古王国		期末	
9月	イスラム世界の発展、十字軍とルネサンス				
後期	10月	大航海時代とアジア		中間	17
	11月	市民革命とアメリカ			
	12月	産業革命と世界		期末	
	1月	第1次世界大戦とアジア・アフリカ			
	2月	世界恐慌から第2次世界大戦へ、冷戦と多極化			
評価の方法					
平常の授業態度（出席状況）・定期考査・課題の提出状況等を総合的に判断する。					
備考					

科目	日本史A	単位数	2	区分	選択必修		
教科書・教材	清水書院 『高等学校 日本史A 改訂版』	配当年次	4年次				
授業のねらい・概要							
近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を世界史的視野に立ち、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させて歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。							
授業の進め方							
授業ごとにプリントを用意する。板書の重要事項を写しながら説明を聞く。教科書や配布資料などから課題を完成させる。							
学習の内容							
前期	4月	戦後日本の歩み	中間	17			
	5月	原始・古代					
	6月	奈良～平安時代					
	7月	平安～鎌倉時代					
	8月	〃					
9月	鎌倉時代	期末	18				
後期	10月	室町時代	中間	17			
	11月	戦国～安土・桃山時代					
	12月	江戸時代～幕末	期末			18	
	1月	明治・大正時代					
	2月	昭和～太平洋戦争					
評価の方法							
平常の授業態度（出席状況）・定期考査・課題の提出状況等を総合的に判断する。							
備考							
地理Aとの選択必修。							

科目	総合社会	単位数	2	区分	選択		
教科書・教材	なし	配当年次	3年次または4年次のどちらか				
授業のねらい・概要							
新聞の記事等を活用しながら、1年次配当科目の現代社会の内容を深めつつ、政治、経済、文化等の幅広い分野から主要な問題を取り上げ幅広い知識を身につける。							
授業の進め方							
政治、経済、世界情勢など、時事的な問題を新聞・資料を基にプリントを作成し、それら諸問題の歴史的背景や現状などを探りながら今後への展望を考察していく。							
学習の内容							
前期	4月	環境問題	中間	17			
	5月	〃					
	6月	資源・エネルギー問題					
	7月	〃					
	8月	資本主義と社会主義経済の概要、税制のしくみ	期末			18	
9月	〃						
後期	10月	地域紛争（カシミール、チベット、パレスチナ他）	中間	17			
	11月	国際社会（国際条約、国際連盟・連合、冷戦、EU、南北問題など）					
	12月	〃	期末			18	
	1月	消費者問題（悪徳商法・クレジットカード・消費者金融など）					
	2月	三権（司法・立法・行政）の役割					
評価の方法							
平常の授業態度（出席状況）・定期考査・課題の提出状況等を総合的に判断する。							
備考							
ニュースを分かりやすく解説する番組がいくつかあるので、できるだけ見ること。							

科目	時事問題	単位数	2	区分	選択		
教科書・教材	なし	配当年次	3年次または4年次のどちらか				
授業のねらい・概要							
昼間は労働者として、夜は高校生として多忙な生活を送る本校生徒は、国内外の重要、緊急事項についてじっくり考えることがむずかしい。この授業を通して今世界が直面する大切な課題についての考え方や基礎的な知識を身につける。							
授業の進め方							
携帯電話やインターネットなどの電子メディアのみに依存することなく、新聞を中心とした活字メディアの読み方の基本を習得させ、時事問題の重要テーマについて自分なりの意見を持ち、かつ表現する能力を向上させる場を設ける。							
学習の内容							
前期	4月	変貌する日本社会を概観する～二極化の諸相	中間	17			
	5月	「2007年問題」～団塊世代の「退場」がもたらすもの					
	6月	仕事場の現在～「働く」風景の変化					
	7月	“漂流”する若者たち～ニート・フリーター問題とは何か	期末			18	
	8月	〃					
9月	高齢社会の衝撃～世界史上初の時代がやってくる						
後期	10月	家族と子どもの21世紀～少子社会の家族像	中間	17			
	11月	女性が変わる社会～産む、働く、暮らすことの未来					
	12月	地球環境の危機～岐路に立つ人類	期末			18	
	1月	グローバル経済の奔流～「格差」のグローバル化と宗教・ナショナリズム					
	2月	不安定するアジアと日本～“火薬庫”か、共存への指針か					
評価の方法							
出席状況、レポート、定期試験の結果を総合的に判断。							
備考							